

## 東通村と都市部との交流 ～おいでよ！東通村～



交流する東通小と浮間小のみなさん

8月25日から27日の3日間、東京都北区立浮間小学校の5年生10名と学校関係者らが東通村を訪れ、村の豊かな自然や文化に触れました。

浮間小と東通村との交流は今年で22年目を迎えます。この取り組みは、東通村と都市部との交流事業実行委員会（澤田 直人会長）が主催する「東通村と都市部との交流事業」の一環として行われています。

滞在中、浮間小の皆さんは、ブルーベリー農園や漁港、東通小学校を訪問しました。最終日の27日には、東通小の5年生と一緒に、尻屋崎や石持の北部海岸等の景勝地を散策したり、体育の授業を体験しました。

別れ際、こどもたちは「また来てね、忘れないでね」「次は浮間に来てね」と、再会を誓い合いました。

## 戦後80年、恒久平和を祈る ～東通村戦没者追悼式～



東通村戦没者慰霊碑



献花をする畑中村長・川端議長



追悼のこたばを述べる坂本会長

9月3日、第72回東通村戦没者追悼式が執り行われました。先の大戦で犠牲となられた村出身の二百余柱の戦没者の英霊に哀悼し、恒久平和を祈るべく、遺族らが参列しました。

式典では、参列者一同で黙とうをささげ、畑中 稔朗村長、川端 一松村議会議長に続き、遺族を代表して坂本 信大村遺族会長が、尊い命を失われた戦没者への深い追悼の意を表しました。

終戦から80年の節目を迎え、参列者は、村体育館山手に建立する戦没者慰霊碑の前に、白菊を献花し、冥福を祈るとともに、恒久平和を誓いました。